

上野名跡志六

復刊版



群馬地域文化振興会

上野名跡志三編卷上

上毛 富田永世輯錄

○那波郡

延喜民部式ニ那波郡 和名抄國郡部ニ那波

名跡考ニ那波ハ繩カ亦ハ平ノ義カト云

和名抄那波郡郷名 朝倉阿佐 韃田佐也 田後多之 佐美

委文之土 池田伊介 葦東爾良 假字考ニ委文ハ倭ノ字ノ省文

非東ハ今猶存シテ丹良塚ト書ス名跡考ニ朝倉ハ今猶存シテ群馬郡ニ入韃田ハ今群馬郡ノ齋田也委文ハ上宮カ田後ハ角淵邊佐味ハ小泉村ニテ小泉ノ意ノカト云

延喜神名式ニ那波郡二座 火雷神社 倭文神社

上野國神名帳那波郡

從三位國玉明神 從三位篠原明神 正五位上栗原明神

正五位上石手明神 正五位上霜川明神 從五位上十二月明神

從五位三村明神 從五位布留明神

名跡考ニ飯玉明神小泉村ニアリトイヘリ國玉明神ニハアラヌカ

○那波氏

保元物語ニ上野國名波ノ太郎 平家物語ニ田原亦太郎忠綱カ手ニ那波ノ太郎
義仲ハ上野住人那波ノ太郎弘澄ヲ先手トシテ云々 源平盛衰記院ノ御所ノ守
護上野國ノ住人那波太郎弘澄云々 東鑑ニ那波太郎同次郎藏人同彌五郎同左
近大夫政茂同刑部少輔同五郎 承久記ニ那波藤八 太平記ニ那波左近太夫
南方記傳ニ那波上總介 後太平記ニ那波掃部頭氏元同孫次郎宗元同彈正少弼
氏康同彌次郎 鎌倉九代記ニ那波掃部助 鎌倉大草紙上野一揆ニ那波大炊介
同左京亮同刑部少輔關東兵亂記ニ那波上總介 同書戰錄ニ那波對馬守宗元同
無理之介宗安 那波ニ家アリトイヘハ此内ニ家相交ナルヘシ

○那波城

豆相記ニ謙信圍名和城 北越軍記ニ名和城ヲ攻落ス云々

新田正傳或問ニ云天文十五年二月那波太郎廣高新田ニ背長尾ニ與力シテ塚ノ

町邊迄出張金山成繁ヨリ先手衆馳向合戰那波方敗軍廣隆自害子息無理之介廣

光甲州へ落城那波新田持ト成渡船場故在番スト云

長尾ハ白井惣社等ノ長尾カ謙信ニハアルヘカラス

關東古戰錄ニ云永祿三十月輝虎勢多郡那和城ニ働カル、本庄越前守繁長末彌

五郎トテ十七歳ナリシカ先登ノ命ヲ受攻寄タリ城主那波對馬守宗元同無理之

介宗安父子共ニ勝タル兵ニテカケ出戰フ本庄モ大剛ノ士ニテ自身鎗ヲ合太刀

打シテ勇ヲ揮ヒ宗元ヲ討取無理之介ハ切抜行方不知落ニケリ云々後甲州ニ見ユ

桐生ノ繫城ナリトテ北條丹後守ヲ入置後厩橋へ移關東惣目付トナル云々

勢多郡ハ誤那波郡也

天文十五年ヨリ永祿三年ノ間十五年アリ天文十五年ニ新田ニ屬シ
永祿三年上杉ノ爲ニ落シニハアラヌカ謙信那波城ヲ攻シ事ハ他書
ニ見ユ名乗ノ違ハイカ、二家ノレハ紛シナルヘシイツレ是トモ不
弁

後上野志ニ云二家アリ一家藤原秀郷裔淵太輔兼行二男成綱カ子那波二郎秀廣
其子太郎廣隆泉龍寺開基一家ハ大江廣元ノ三子掃部介政廣賴朝卿ノ封ヲ受那

波ヲ領ス後ニハ一家トナルカトオホシ小泉ハ那波氏最初ノ城那波城ハ堀口村
那波掃部介政廣ヨリ駿河守宗俊弘治元年迄居住ト云

サレハ是ハ無理ノ介落シ那波城トハ別ニテ永祿三ヨリ六年前弘治
元年ニ落城セシナルヘシ

○那波庄

太平記ニ宇都宮一統利根川打ワタリテ那波ノ庄ニ著桃井長尾後ヨリ追來ル宇
都宮藥師寺氏家踏留小溝隔テ合戦ス長尾桃井敗走三里ノ間平野血ニナル軍畢
テ四五月ノ後迄モ草腥地魄クシテ戸路徑ニ横云々

櫻雲記ニ正平六年十二月
宇都宮氏綱桃井長尾

於上州名和庄合戦ト云是也鎌倉九代ニモ見ユ
五料ヨリ玉村ノ邊ニテモアラシカ今茂木村ノ邊塚多シ戸ヲ埋シカ
ト思シヲ群玉翁言太平記ノ古戰場ハ玉村五料ノ邊ニアラス馬見塚
大正寺ノ邊ナルヘシ其地ノ利根川ハ今ノ武士ノ渡也五料ノ渡ハ應
永後ノ事也ト云實ニ變流セシナラハサモアルヘシ

鎌倉大草紙ニ顯定憲房定政太貳道真ヲ殿ニテ利根川ヲ渡那波ノ空ヘ引退云々
太田道灌所々ノ軍ニ打勝利根川ヲ越那波庄へ兩上杉ノ迎ニ來五十子ニ皈陣ス
云々